

平成25年度提案

提案番号	13-006	提案年月日	平成26年2月13日	受付年月日	平成26年2月13日	提案者	個人	区分	アイデア
------	--------	-------	------------	-------	------------	-----	----	----	------

提案件名	備前市フォトコンテストの開催	提案の要件	市民サービスの向上に役立つもの
			事務能率が向上するもの
			経費の節減・収入の増加に資するもの
			行政事務運営の革新となるもの
		●	本市のイメージアップに係るもの
			その他公益上有効であるもの

現状及び問題点	提案の内容	期待される効果
<p>当市では、閑谷学校や八塔寺ふるさと村をはじめとする歴史ある文化財や、備前焼の窯元が並ぶ伊部の町並みなどの他市では決して見ることのできない景観が存在する。しかし、それらは広くとも岡山県内にとどまり、全国的な知名度を得ているとは言えず、観光客を呼び寄せる観光資源としての機能を十分に果たせていない。</p> <p>また、市財政の現状を見ると、十分な予算を観光資源の充足に充てることは不可能であるため、いかに低コストでなおかつコストパフォーマンスが高い政策を行うかが求められている。</p>	<p>備前市の景観を撮影対象としたフォトコンテストを実施し、全国のアマチュア・プロカメラマンのみならず、誰からも作品を募集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施は年2回。 募集期間は4ヶ月程度とし、春～夏の時期の写真と、秋～冬の時期の写真をそれぞれの期間で募集する。 市長賞をはじめ5つほど賞を設け、副賞として上限3万円程度の賞金や備前市の特産物を贈呈する。 審査員は、市役所幹部、倉知克直岡山大学大学院教授など。 小学校・中学校の図工・技術の授業の一環として活用してもらうことで、よりイベントが盛り上がる。 長崎県南島原市でも自治体主催のフォトコンテストを行っているようで、その事例が実施にあたり参考にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 応募者が実際に備前市に来て撮影することで、観光収入の獲得ができる。 応募者が作品にオリジナリティを求めることで、既知の観光地以外の新たな名物スポットが開拓される。 (潰れたり寂れた工場や建物でさえも、廃墟として全国的に有名になり得る) 子供からお年寄りまで誰でも気軽に参加できるイベントであるため、市民の備前市の新たな魅力の発見につながる。 応募作品の権利を一切備前市に帰属するものとする（写真等コンテストではよくある）で、美しい応募作品を市の宣伝材料として活用することができ、市のホームページや広報誌に華を添え、市のイメージアップにつながる。 前述の宣伝材料として活用する手段として、スマートフォンやPC用の壁紙、facebookのカバー画像として使用できるように市ホームページで配布することで、確実に備前市の知名度やイメージの向上になる。

関係課意見

【秘書調整課広報・SNS係】

本提案につきましては、備前市の特色を活かした事業となりますので、平成26年4月1日から設置される「ブランド推進係」等で対応していくことが、よいと思われま。

【観光振興課】

提案者の関係部署としては、観光振興課は提示されていませんが、観光面としての検討結果を報告いたします。

フオトコンテストとしては、現在備前焼まつりのイベントとして毎年備前市写真連盟の主催で実施しています。今年度の応募者総数は49名で、その内約7割が市外からの応募者です。

(県外の方は4名。例年80名程度が応募されていますが、今年は天候の関係で少なかった)

このような特化したイベントだけでなく、提案書のとおり観光地以外の新たなスポット発掘には有効な手段と思われま。

また、実施主体は自治体として提案されていますが、何を主眼にするかで担当課を定めなければならないと思われま。

それから、現在備前焼まつりのイベントとして定着している経緯もあるので、市写真連盟等との協議が必要と考えま。

【生涯学習課文化係・世界遺産登録推進係】

- ・写真により備前市を全国に知っていただくことは、観光はもとより文化財や世界遺産登録推進活動に有効と考えられる。
- ・提出(投稿)方法を簡単にし、自己責任を徹底させる。撮られたくないものが応募される場合がある(著作権、肖像権、プライバシー、マナーなど)
- ・審査にはそれなりの専門家が1人は必要ではないか

【参考事例】南島原市

「撮ってくれんね!南島原 コンテスト」2012.07~2013.02

「おいしい南島原」2013.05~2014.02

Q.南島原市民しか応募できないの?

A.いえいえ!他人の利権やプライバシーを侵害しないオリジナルの作品を責任もって応募できる方ならだれでも応募できます

2月25日、南島原市の担当に問い合わせたところ「写真掲載による削除要請等の苦情は無い」との回答だった。とはいえ、注意は必要で削除する権限も必要。

採用	どちらでもない	否採用
<p data-bbox="174 339 409 379">4人 / 14人中</p> <ul style="list-style-type: none"> ●若手職員による勉強会の成果としても写真コンテストが挙げたが、合併10周年イベントとして実施されなかった経緯もある。予算措置や担当課がどこになるかが課題となると思うが、押し付けあうことなく実行してほしい。アイデアに関しては、当提案と若手職員考案のものをうまく組み合わせたものとしてもらいたい。 ●担当課を決める必要があるが、今後、実現可能なコンテストだと思います。 ●備前市が広く発信できるのでいいことです ●肖像権やプライバシーの問題が懸念されますが、市内の隠れた名所を発掘する、よい提案と思います。 	<p data-bbox="813 339 1048 379">9人 / 14人中</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対象がカメラマンもしくはカメラが趣味の方であり限られている。 ●効果は期待できますが、新たな事務を増やすほどの効果が見込めるのか判断に苦慮します。 ●フォトコンテストは備前市でも都度実施しているが、毎年2回実施となると写真連盟との連携が不可欠と思います。備前市写真連盟展、備前市美術展覧会もあり、写真連盟との応援体制が築けるのであれば、実施してもよいのではないかと。 ●写真愛好家の方たちの素晴らしい写真を市のPR用に使えば効果的にPRできてよいと思う。 ●コンテストは各地や雑誌等々で行われているので、それに応募する人（交通手段の少ない高齢者など）を対象に、フォトスポットを巡るバスを土日に出すなど、市外の人定期的に訪れやすい環境を整えてみてはどうでしょうか。 	<p data-bbox="1451 339 1686 379">1人 / 14人中</p> <ul style="list-style-type: none"> ●民間でできる事業だと思います。市としては補助や広報活動に徹し、民間の主催事業が可能だと思います。その際、市外の方を限定にして募集するなど、対象を絞ると効果があると思います。